SOURCENEXT®

ソースネクスト株式会社
2025年12月期事業報告書

2025年4月1日 ～ 2025年12月31日

次の、うれしい♪

AI

IoT

Software

Hardware



ごあいさつ

株主の皆様へ

平素より当社をご支持いただいている皆様に心から御礼申し上げます。
当連結会計年度の実績につきまして、ご報告申し上げます。

業績ハイライト：増収と損失幅の縮小を実現、減損計上により将来の収益性を強化

当連結会計年度の売上高は92億74百万円（調整後前年同期比7.2%増）となりました。Windows 11への移行需要を捉えた主力ソフトの伸長に加え、「筆ぐるめ」や「Oura Ring 4」といった新製品の寄与が大きく貢献しています。利益面では、グループ全体での固定費見直し等のコスト最適化により、経常損失は12億43百万円（調整後前年同期比9億5百万円改善）と赤字幅を大幅に縮小し、収益性は順調に改善しております。
一方で、今後の利益成長を優先した財務基盤の健全化を優先するため、ポケトーク社のソフトウェアに関する固定資産について、11億81百万円を特別損失として計上いたしました。これは現金の支出を伴わない会計上の処理であり、事業の継続や資金繰りに支障はございません。また、ロゼッタストーンに関する権利譲渡により、帳簿価額を売却予定価額まで減額し、当該減少額を減損損失として、連結決算において4億8百万円を特別損失に計上いたしました。今回の処理により、次期以降の償却負担が大幅に軽減されるため、早期の黒字化に向けた最適な収益構造へと転換してまいります。

AIで「次の、うれしい♪」を。

現在、AI（人工知能）は急速に普及していますが、ビジネスの現場や日々の暮らしの中で、その機能を十分に使いこなすには、まだ多くの課題があります。当社は、こうした課題を解決することが、日本全体の生産性を引き上げ、皆様の毎日を豊かにする鍵であると考えています。
当社は、これまで培ってきた「先進技術を誰にでも使いやすい製品にして提供する」という強みを活かし、以下の3つの柱を軸とした戦略を推進することで、AI市場における持続的な収益基盤を構築してまいります。
・世界中の先進的なAI製品の日本での展開
・AIの真価を引き出す製品の開発・提供
・AI導入支援、AIを使いこなすための支援コンテンツの提供
当社は、1996年の創業以来、「製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げる」をミッションに、お客様のニーズや時代に合わせ、パソコンソフトからIoT製品まで、事業領域を拡大してまいりました。これからも、皆様に「次の、うれしい♪」を感じていただける製品を、スピード感を持って提供するために、製品の企画・開発に注力するとともに、収益の改善に向けて全力を尽くしてまいります。
皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長 兼 CEO　松田 憲幸
代表取締役副社長 兼 COO 兼 CRO　小嶋 智彰

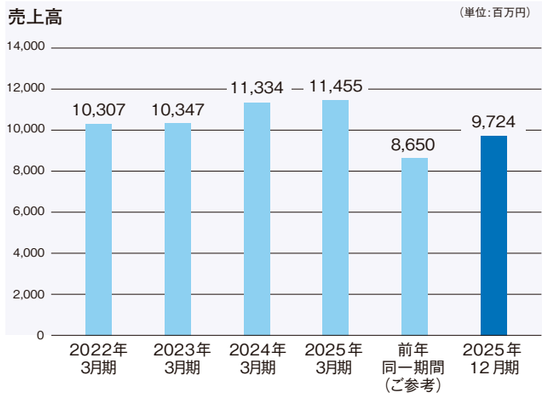
連結業績ハイライト

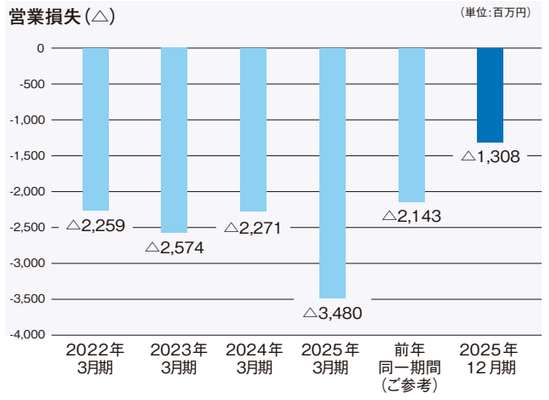
決算のポイント

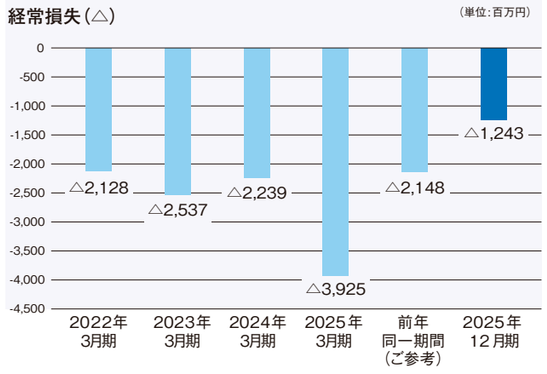
増収とコスト削減により、経常損失を縮小。減損計上により、将来に向けて財務体質を健全化。

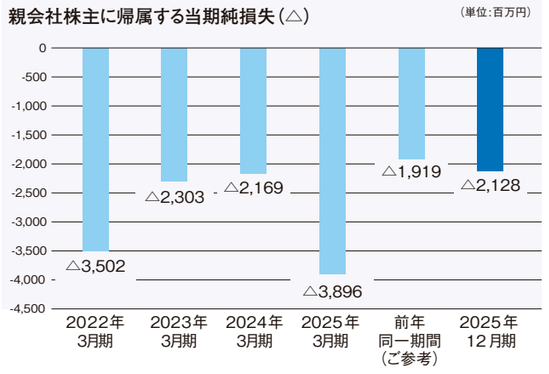
- 売上高は調整後前年同期比+6億24百万円（+7.2%）と増収
  1）今期は、Windows10サポート終了の需要による主力ソフト製品の販売伸長
  2）「筆ぐるめ」「Oura Ring 4」など新規商材が寄与
- 経常損失は縮小し、9億5百万円改善
  上記の売上高増加のみならず、全社的なコスト最適化により、収益性は順調に改善
- 減損損失を計上したことにより、親会社株主に帰属する当期純損失は増加。財務体質の健全化を企図

なお、2025年3月期につきましては、当期との比較しやすさを考慮し、
2024年4月1日から12月31日までの9か月間を対象とした期間を「調整後前年同期」と記載しております。









生成AI関連の製品展開を加速

この期間ソースネクストは、世界最先端の次世代AIエージェント「Genspark」の日本展開を開始したほか、AI議事録サービス「オートメモ」への新機能追加、「いきなりPDF」へのAI活用機能の搭載など、AIを実務で活用しやすくする取り組みを相次いで実施しました。
加えて、長年ご愛顧いただいている定番製品の機能強化や、新しい価値を提案するサービスも展開し、幅広いお客様のニーズに応える製品ポートフォリオを拡充しています。

自律型 AI プラットフォーム

ジェンスパーク

複数の専門AIエージェントを自動で使い分け、情報収集から資料作成、データ分析まで、あらゆる業務をワンストップで支援します。
例えば「市場調査レポートを作って」と指示するだけで、AIが必要な作業工程を分析し、最適なAIモデルに役割を割り当てます。情報収集、整理、分析、資料化までを自動で進行し、一度の指示で質の高い成果物を完成させます。従来の単体AIツールでは実現が難しかった高度な業務支援を可能にする、革新的なアプローチです。



この一言でスライドが完成。

AI議事録サービス

オートメモ

オートメモは、録音した音声の自動テキスト化や要約で議事録づくりを大幅に省力化するとともに、管理や共有までできる文字起こしAIです。
PCでの直接録音から文字起こし、編集、共有までブラウザだけで完結。専用のボイスレコーダーや専用のスマホアプリもあります。精度の高いテキスト化と話者を音声で自動判別し、サッと議事録が完成します。
お客様のニーズに的確に応え、アップデートを続けています。

AutoMemo

アカウント数
22万突破
2025年12月末時点





専用ボイスレコーダー
オートメモ R（左）とオートメモ S（右）

会議用360度webカメラ

ミーティングオウル

カメラ、マイク、スピーカーが一体になったwebカメラです。
発言者を自動でフォーカスし、クローズアップ。人数が多めの会議向けの製品です。累計出荷台数は3万台を超え、多くの企業に導入されています。
新型の「ミーティングオウル 4+」は、4K対応カメラを搭載し、広い会議室でも、本体から離れた席の参加者の表情まで鮮明に映し出すことができます。



ミーティングオウル 4+（左）と
ミーティングオウル 3（右）

健康を管理するスマートリング

オーラリング

ストレス、睡眠、健康を管理するウェアラブルデバイスです。
オールチタン製のデザインに、「Smart Sensing」を搭載。
心拍数、体温、睡眠、ストレス、アクティビティ、女性の健康など、30を超える生体情報を精密に測定・解析し、専用アプリで一人ひとりに合わせた気づきを提供します。



紛失防止タグ

ペブルビー

米国PB Inc.社が開発し、世界で初めてApple社製デバイスの「探す」ネットワークとGoogle社が提供する“FindHub”機能の両方のネットワークへの対応を実現したスマートタグです注。鍵や財布、スーツケースなど、大切なものに取り付けておくと、見当たらなくなった時にスマートフォンに標準搭載されている機能を使って、簡単に見つけられます。

注：PB.Inc社調べ。また、両方のネットワークを同時には使えません。

pebblebee®



パソコンソフト

Windows 10のサポート終了に伴うPC環境更新の動きを背景に、セキュリティ、ビジネス、引越ソフトに加え、年賀状ソフトの需要も拡大し、当該分野の売上は大きく伸長しました。

生成AI活用と、ペーパーレス化を支援する「いきなりPDF」



高性能・低価格でPDF作成の常識を変えたロングセラーです。累計導入実績は15,000社以上。OCR処理で生成AIが読みやすく、活用しやすいPDFを作れます。

期限なしのウイルス対策ソフト「ZERO」



ZEROシリーズは「端末固定・期限なし」の独自ライセンス。入れた端末が使えなくなるまで守り続けます。1台に1本、1回入れれば対策が完了し、コストの面でも手間の面でも、セキュリティの負担を大きく軽減します。

4ブランドの年賀状ソフト



Windows用年賀状ソフトでトップシェアの「筆まめ」、Mac用でトップの「宛名職人」に加え、「筆王」「筆ぐるめ」の4ブランドを展開しています。
当社サイトでは、毎年の自動継続版が売上を堅調に伸ばしています。

ユーザーサービス

2000万人を超えるご登録ユーザー



当社は、ダウンロード販売を中心に自社サイトでの通信販売を展開。製品をご購入になり製品登録をされたお客様に、アフターサービスとしてバージョンアップやユーザー割引などのリピート購入を促進しています。
ユーザー登録数はのべ2000万人を超え、大きな資産となっています。

旅行にも、ビジネスにも　広がるポケトーク。

言葉の壁をなくす

据え置き型AI同時通訳機 ポケトーク X

「言葉の壁をなくす」というミッションのもと、AI通訳機「ポケトーク」シリーズは世界中で利用が広がっています。2024年には最新機種「ポケトークS2」を発売し、個人から企業・自治体まで幅広い現場で活用が進んでいます。

現在、次のステージとして据え置き型AI同時通訳機「ポケトークX」の開発を進めています。2026年の販売開始を予定しており、空港や医療機関、行政窓口、ホテルなど、多言語対応が求められる公共空間での利用を想定しています。



ポケトーク X

本製品はAI同時通訳ソフトウェア「Sentio」を基盤に開発。
両面ディスプレイに互いの言葉を瞬時に翻訳表示することで、対面で自然な会話を実現します。高感度マイクや自動言語判別機能も搭載し、騒音環境でも高精度な通訳が可能です。
2026年2月には関西国際空港で実証実験を開始しました。実際の案内業務で活用しながら、社会実装に向けた検証を進めています。
インバウンド需要の拡大を背景に、多言語コミュニケーションのニーズは高まっています。AI通訳を個人向けデバイスにとどめず、空港や医療、行政など社会の基盤を支えるコミュニケーションインフラとして展開していくことを目指しています。

AI同時通訳サービスSentio（センティオ）

大規模なアップデートにより、対応言語は従来の10言語から41言語へと拡大。特に要望の多かったタイ語やベトナム語にも対応し、アジア市場や新興国ビジネスなど、幅広いシーンでご活用いただけます。
また、英語音声の誤認識率を約39%削減し、翻訳精度も国際的な評価指標「COMETスコア」で最大15%向上。より自然で信頼性の高い通訳体験を提供します。
さらに、不適切な表現や冒涜的な言葉を検知して自動でフィルタリングする機能も搭載。安心して使える、クリーンなコミュニケーション環境を実現しています。

Sentio



AI通訳機 ポケトーク S2

設定した2言語を自動で判別し、スムーズな会話を実現します。
Wi-Fiなしでも使える地域は170以上。バッテリーの持続時間も前モデルより大幅に改善しています。「ポケトーク アナリティクス」との連携でセキュリティ面もさらに強化。グローバルなセキュリティ基準への準拠により、個人でのご利用はもちろん、企業や団体、自治体でも安心してお使いいただけます。

POCKETALK

おかげさまで出荷台数
120万台突破
2017年12月～2025年12月
初代「ポケトーク」、「ポケトーク W」、
「ポケトーク S」、「ポケトーク S Plus」
（サンプルなどを除く）



ポケトーク S2（左）と
ポケトーク S2 Plus（右）

ソースネクストの軌跡

ソースネクストの歴史は、新しい常識への挑戦の連続でした。そして、それは今後も変わることはありません。

1996 1997 1998 1999 2000 2001 2002 2003 2004 2005 2006 2007 2008 2009 2010 2011 2012 2013 2014 2015 2016 2017 2018 2019 2020 2021 2022 2023 2024 2025 2026

インターネット

操作の常識を変える

文字のない「特打」のメニュー



「驚速95」の操作はインストールだけ

キーボードの絵がないタイピング練習

「驚速95」発売 「特打」発売



株式会社ソースを設立

「携快電話」発売

インターネット通信販売事業を開始

業界初の「マイレージサービス」を開始

テレビCM「ムエタイ編」が「第40回 ACC CM FESTIVAL」で銀賞

「安心サービス」を開始

株式会社ソースからソースネクスト株式会社に社名変更

ブロードバンド

価格の常識を変える

「驚速ADSL」発売

「ウイルスセキュリティ」発売

「いきなりPDF」発売

セキュリティ

開けばわかる「説明扉付きパッケージ版」を販売開始

株式会社コーエーと業務提携

セキュリティの常識を変える

「ウイルスセキュリティZERO」発売

業界慣習のウイルス対策ソフトの年間更新料を0円にSMBCコンサルティングの「2006年ヒット商品番付」で前頭6枚目に選出

パソコンに比べてソフトは高いままそこで価格を1,980円に統一し大反響に

「ソフト◎プライス1980円」が2003年日経優秀製品・サービス賞「優秀賞」「日経MJ賞」を受賞

東京証券取引所市場第一部に株式上場

「Uメモ」シリーズを発売

「超字幕」発売



Artwork © 2006 Twentieth Century Fox Film Corporation. All rights reserved.

マザーズ市場に株式上場

「B's Recorder」発売



「筆王」発売

Evernoteと業務提携

iPhone用アプリの提供開始

スマートフォン

「スーパーセキュリティZERO」発売

「au スマートパス」にアプリの提供を開始

「スゴ得コンテンツ」にアプリの提供を開始

SOURCENEXT Inc.を設立

「App Pass」にアプリの提供を開始

「Android厳選アプリ」シリーズ

Android用アプリケーションの開発・販売を開始

Dropboxと提携

iPhone版「超字幕」発売

登録ユーザー数1000万人突破

提供方法の常識を変える

「アプリ超ホーダイ」「超ホーダイ」シリーズ提供

パソコンソフトが120本以上使い放題の「超ホーダイ」、100本以上のAndroid端末用のアプリが使い放題の「アプリ超ホーダイ」スタート

IoT AI

翻訳機の常識を変える

AI通訳機「POCKETALK」発売

AI通訳機「POCKETALK W」発売

IoT機器の自社開発を開始

AI通訳機「POCKETALK S」発売

テレワーク

360度webカメラ「ミーティングオウル」発売

SOURCENEXT B.V.を設立

文字起こしボイスレコーダー「AutoMemo」発表

会議の常識を変える

自社開発の360度webカメラ「KAIGIO CAM360」発売

文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo S」発売

ポケトーク 株式会社を設立

東京証券取引所プライム市場適合

AI通訳機「POCKETALK S2」発売

ゴルフ用IoT製品「BirdieTalk」発売

スマートタグ「ペブルビー」発売

スマートリング「オーラリング」発売

スマホ用ゲームコントローラー「バックボーン・ワン」発売

オンラインでも使えるAI翻訳ソフト「ポケトーク同時通訳 Sentio（センティオ）」発売

webアプリ「AutoMemo」提供開始

文字起こしAIボイスレコーダー「AutoMemo R」発売

据え置き型AI同時通訳機ポケトーク X 発売予定

What's Next

連結財務諸表（要旨）

連結貸借対照表

（単位：百万円）

科　目	前　期 2025年3月31日現在	当　期 2025年12月31日現在
資産の部		
流動資産	11,342	10,302
うち現金及び預金	6,008	4,918
うち商品及び製品	2,646	2,953
固定資産	5,866	4,242
有形固定資産	101	124
無形固定資産	3,597	1,703
投資その他の資産	2,168	2,413
① **資産合計**	17,209	14,544
負債の部		
流動負債	6,165	5,922
固定負債	1,689	1,834
② **負債合計**	7,854	7,757
純資産の部		
株主資本	7,485	5,357
その他の包括利益累計額	△20	220
新株予約権	422	497
非支配株主持分	1,467	712
純資産合計	9,354	6,787
負債純資産合計	17,209	14,544

流動比率	184.0%	174.0%
当座比率	122.6%	109.9%
自己資本比率	43.4%	38.3%

連結損益計算書

（単位：百万円）

科　目	前　期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	当　期 自 2025年4月1日 至 2025年12月31日
③ **売上高**	11,455	9,274
売上原価	6,119	4,476
売上総利益	5,336	4,798
販売費及び一般管理費	8,816	6,106
営業損失（△）	△3,480	△1,308
④ **経常損失（△）**	△3,925	△1,243
税金等調整前当期純損失（△）	△4,234	△2,850
法人税等	209	6
非支配株主に帰属する当期純損失（△）	△547	△727
⑤ **親会社株主に帰属する当期純損失（△）**	△3,896	△2,128

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

科　目	前　期 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日	当　期 自 2025年4月1日 至 2025年12月31日
⑥ **営業活動によるキャッシュ・フロー**	△1,857	426
⑦ **投資活動によるキャッシュ・フロー**	△1,215	△940
⑧ **財務活動によるキャッシュ・フロー**	5,778	△645
現金及び現金同等物に係る換算差額	23	62
現金及び現金同等物の増減額	2,728	△1,097
現金及び現金同等物の期首残高	3,130	5,858
現金及び現金同等物の期末残高	5,858	4,761

ポイント

① 資産合計

26億64百万円減少し、145億44百万円となりました。主な要因は、ソフトウェアの減少13億69百万円、現金及び預金の減少10億90百万円によるものです。

② 負債合計

97百万円減少し、77億57百万円となりました。主な要因は、未払金の増加2億41百万円、前受収益と長期前受収益の増加1億60百万円、買掛金の増加82百万円があるものの、借入金（短期借入金、長期借入金、1年内返済予定の長期借入金の合計）の減少6億45百万円によるものです。

③ 売上高

Windows 11への移行需要の取り込みによるソフトウェア製品の伸長や、「筆ぐるめ」「Oura Ring 4」など新製品の取り扱い拡大が寄与し、売上高は92億74百万円（調整後前年同期比7.2%増）となりました。

④ 経常損失

販売費及び一般管理費につきましては、グループ全体で賃料・システム利用料など固定費を最適化して経営の効率化を図り、中期的な利益向上につながる体制に移行した結果、61億6百万円（調整後前年同期比8.8%減）となりました。以上の結果、当連結会計年度の営業損失は13億8百万円（調整後前年同期営業損失21億43百万円）、経常損失は12億43百万円（調整後前年同期経常損失21億48百万円）となりました。

⑤ 親会社株主に帰属する当期純損失

ソフトウェア及び契約関連無形資産等の減損損失を計上した結果、税金等調整前当期純損失は28億50百万円（調整後前年同期税金等調整前当期純損失20億65百万円）となりました。また、非支配株主に帰属する当期純損失7億27百万円を計上した結果、親会社株主に帰属する当期純損失は21億28百万円（調整後前年同期親会社株主に帰属する当期純損失19億19百万円）となり、損失幅は拡大しましたが、収益性の改善が順調に進んでいます。

⑥ 営業活動によるキャッシュ・フロー

増収およびコスト削減により損益が改善した結果、4億26百万円の収入となりました。営業キャッシュ・フローがプラスとなるのは、2023年3月期以来3期ぶりです。主な要因は、未払金が2億53百万円増加したこと、前受収益と長期前受収益があわせて1億60百万円増加したことによるものです。

⑦ 投資活動によるキャッシュ・フロー

9億40百万円の支出となりました。主な要因は、ソフトウェアの取得による支出が8億49百万円、有形固定資産の取得による支出が64百万円によるものです。

⑧ 財務活動によるキャッシュ・フロー

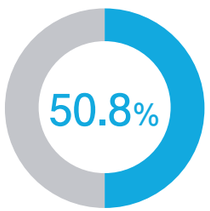
6億45百万円の支出となりました。主な要因は、短期借入金が純額で5億円減少したこと、長期借入れによる収入が3億円あったものの、長期借入金の返済による支出が4億45百万円あったことによるものです。

チャネル別概況

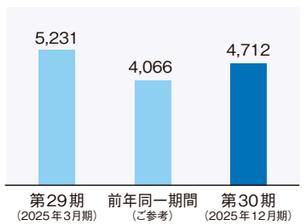
オンラインショップ

売上高　47億12百万円（調整後前年同期比15.9%増）

売上高構成比



売上高（単位:百万円）



当社直販サイト及びAmazon等の国内ウェブサイトにおけるオンラインショップにおいて、IoT製品やソフトウェア製品を販売しております。

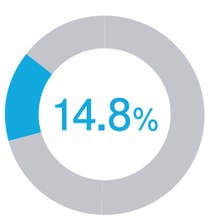
営業概況・主な施策

・当社直販サイト及びAmazon等の国内ウェブサイトにおけるオンラインショップでの販売が、引き続き堅調に推移いたしました。
・取扱製品数の拡充に加え、ソフトウェア製品やハードウェア製品などの販売が好調に推移したことにより、売上高は47億12百万円（調整後前年同期比15.9%増）と、当チャネルの成長を牽引しました。

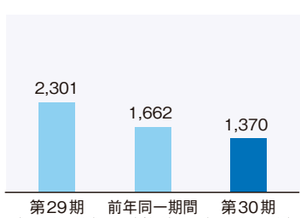
海外等

売上高　13億70百万円（調整後前年同期比17.6%減）

売上高構成比



売上高（単位:百万円）



米国や欧州の当社孫会社において「ポケトーク」を販売しております。

営業概況・主な施策

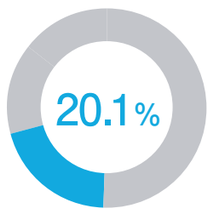
・米国の政策変更に伴い教育機関向けの販売が減少し、売上高は13億70百万円（調整後前年同期比17.6%減）となりました。そのため、教育機関に限らず、医療・公共機関向けの販路を開拓しております。
・サブスクリプション型のサービスが今後の収益基盤となる見込みです。



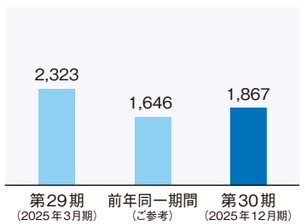
法人営業

売上高　18億67百万円（調整後前年同期比13.5%増）

売上高構成比



売上高（単位:百万円）



法人向けに、「ポケトーク」を始めとするIoT製品並びにweb会議関連のハードウェアの販売・レンタル提供や、パソコンソフト・スマートフォンアプリの使い放題サービス等を提供しております。

営業概況・主な施策

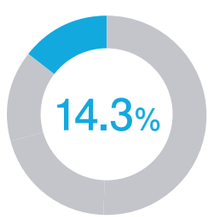
・「いきなりPDF」や「Meeting Owl」など法人向け商材が堅調に推移しました。特に、「いきなりPDF」は官公庁向けの受注が順調に増加しました。
・AI議事録サービス「AutoMemo（オートメモ）」は、法人需要拡大に伴い新プランを導入し成長を続けています。
・Windows10のサポート終了に伴う移行需要により、セキュリティソフトやハガキ作成ソフトなどの販売が伸び、売上高は18億67百万円（調整後前年同期比13.5%増）となりました。



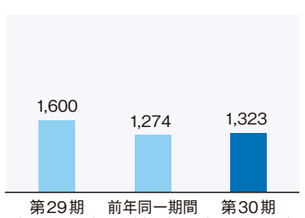
家電量販店

売上高　13億23百万円（調整後前年同期比3.9%増）

売上高構成比



売上高（単位:百万円）



主に全国の家電量販店において、個人ユーザー向けのIoT製品及びパソコンソフト等を販売しております。

営業概況・主な施策

●営業概況・主な施策
・Windows10のサポート終了に伴う移行需要により、セキュリティソフトやハガキ作成ソフトが伸長しました。
・「ポケトークS2」やスマートリング「Oura Ring 4」（2025年7月に販売開始）などが好調で、売上高は13億23百万円（調整後前年同期比3.9%増）となりました。新製品投入と店頭露出拡大が成長を後押ししました。



トピックス

サステナビリティ推進委員会

CDP「気候変動」分野において、2年連続で「B」スコアを取得

2025年の地球環境問題に関する国際的な非営利団体CDP（以下「CDP」）評価において、気候変動分野で、2年連続で「B」スコア（マネジメントレベル）と評価されました。

これは、企業が環境リスクを認識し、管理・戦略的対応を行なっていることを示す評価であり、8段階中上から3番目に位置します。

ソースネクスト・グループの環境戦略

- ソースネクスト・グループは、温室効果ガス排出量の削減に向けた具体的な目標を掲げ、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています
- 気候関連財務情報開示タスクフォース（TCFD）の提言に賛同し、気候変動の影響分析やリスク管理に関する情報を開示しています
- サプライチェーン全体での環境配慮を強化し、パートナー企業との連携による温室効果ガス排出量削減を目指しています

ソースネクスト・グループは、今後も、事業基盤の強化や企業価値の向上などの観点を考慮したうえで、当社にとっての重要課題（マテリアリティ）を特定し、特定したマテリアリティを中期経営計画や長期ビジョンに組み込むことによって、財務・非財務の両面で、経営の質を向上させ、事業と社会の持続可能な成長を目指してまいります。

AIの真価を引き出し、日本の知的生産性を変革する

現在、生成AIは“不可欠なツール”として注目され、ビジネス現場での導入が進んでいます。しかし、実際には「実務での具体的な活用が進まない」「AIに読み込ませる資料の整理に膨大な時間がかかる」といった課題が多くの現場で発生しています。

当社は、こうした“AIブームの実態と活用の乖離”を解消することが、日本の知的生産性を引き上げる鍵であると考えています。

“複雑な技術を誰にでも使いやすい製品にして提供する”という強みを活かし、以下の3つの柱を軸とした戦略を推進することで、AI市場における持続的な収益基盤を構築してまいります。

1.世界最先端AIの日本展開

米Genspark社をはじめとする、世界 トップクラスのAIサービスをいち早く日本市場へ展開します

2.課題を解決する自社製品の開発

「オートメモ」や「0秒読書」など、AI利活用のボトルネック（障壁）を解消し、AIの真価を最大限に引き出す製品を企画・開発します

3.導入・活用の徹底支援

単なる製品提供に留まらず、ユーザーがAIを使いこなすための支援コンテンツを提供し、活用の定着をサポートします

よくあるお問合せ

Q. 黒字化に向けた具体的な施策を教えてください。
A. 徹底したコスト構造の最適化、魅力ある新製品・チャネル拡大による売上の最大化を目指してまいります

グループ全体で「コスト構造の最適化」と「売上成長の加速」の両面から、早期の黒字化と収益性の改善を図っております。

費用面：これまでシステム利用料やオフィス家賃等の固定費削減を行ってまいりましたが、今後はAI活用による業務プロセスの効率化で固定費および変動費の抑制を徹底してまいります。

売上面：2026年度、当グループの中期的な成長を牽引する戦略的な新製品を、ソースネクスト社およびポケトーク社から相次いで市場投入してまいります。これらの新製品投入と併せ、販売チャネルの開拓をさらに加速させることで、売上の最大化と持続的な成長を実現してまいります。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか?
A. コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる通報窓口を設置、運営しています。

Q. 株主還元策はどのように考えていますか?
A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績、配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。これまで10から15%の配当性向にて配当を実施しておりました。

しかしながら、当期は21億28百万円の当期純損失を計上しております。業績の回復に全力を注ぐとともに、中長期的な成長を支える基盤を立て直していくため、誠に遺憾ではございますが当期につきましては無配を予定しております。

株主還元施策として導入した株主優待制度に関しましては、引き続き実施いたします。保有いただいている株数に応じて、当社サイトでの購入の際にご利用できるクーポンを進呈いたします。

ネットでアンケート
Provided by TAKARA Printing

当社では、株主の皆さまの声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

右記URLにアクセスいただき、アンケートサイトにてご回答ください。
https://q.srdb.jp/4344/enquete.html
スマートフォンからカメラ機能でQRコードを読み取り
QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

本アンケートは宝印刷株式会社が提供する「ネットでアンケート」サービスにより実施いたします。

会社情報

会社の概況（2025年12月31日時点）

商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒102-0075 東京都千代田区三番町3番地8 泉館三番町3階
資本金	4,009百万円
従業員数	単体105名（臨時2名含む） 連結167名（臨時4名含む）
事業内容	パソコン・スマートフォンソフトウェアおよび ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況（2026年3月25日時点）

代表取締役社長 兼 CEO（最高経営責任者）	松田 憲幸
代表取締役副社長 兼 COO（最高執行責任者）兼 CRO（最高収益責任者）	小嶋 智彰
取締役 兼 CFO（最高財務責任者）	青山 文彦
社外取締役	安藤 国威
社外取締役	中井戸 信英
社外取締役	大上 有衣子
常勤監査役	杉田 健一
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	木南 麻浦

株式の状況（2025年12月31日時点）

発行可能株式総数	361,120,000株
発行済株式の総数	139,115,100株
株主数	51,503名

企業理念

社名の由来
「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション
製品を通じて、喜びと感動を、世界中の人々に広げる

ビジョン
世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい、喜ばれる、面白い

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会　毎年12月31日 期末配当　毎年12月31日 その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 （郵便物送付先） 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社　証券代行部 （電話照会先） 0120-782-031 （インターネットホームページURL） https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/ （株式に関する住所変更などのお届出およびご照会について） 証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出およびご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。 （特別口座について） 株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座）を開設いたしました。特別口座についてのご照会および住所変更などのお届出は、上記の電話照会先にお願いいたします。
公告の方法	電子公告の方法により行ないます。 （https://www.sourcenext.com/） ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
証券コード	4344
上場証券取引所	東京証券取引所 プライム市場

SOURCENEXT®
www.sourcenext.com

ソースネクスト株式会社
〒102-0075
東京都千代田区三番町3番地8
泉館三番町3階

●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標もしくは登録商標です。
●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

2026.03